

仙北地域 歴史の1コマ

500歳野球

第1回 500歳野球大会(昭和54年)



出場選手の合計年齢を500歳以上とするなど、生涯現役で野球を楽しむための独自ルールが定められた野球大会。旧神岡町で開催された第1回大会には8チームが参加しました。以降、年々参加チーム数が増加し、令和元年の第41回大会では180チームが“親父たちの甲子園”と呼ぶにふさわしい熱戦を繰り広げました。平成29年度からは全国大会も行われています。

第41回 全県500歳野球大会 (令和元年)



たざわ湖・龍神まつり

たざわ湖・龍神まつり(昭和50年代)



辰子姫伝説にちなんだ辰子姫と八郎太郎の出会いを2体の龍みこしで再現する双龍の出会いは当時から圧巻です。龍みこしを担ぐ皆さんの気迫が伝わってきます。

第49回たざわ湖・龍神まつり(令和元年)

変わらぬ田沢湖の景色の中、2体の龍の出会いがまつりを盛り上げます。田沢湖の主「辰子龍」とその恋人である「八郎太郎龍」、二人の出会いを再現する迫力の演舞です。



美郷町ラベンダー園

美郷町ラベンダー園(平成15年)



旧千畑町で昭和63年に試験栽培を始め、平成5年に一般公開を開始しました。

美郷町ラベンダー園(令和2年)

平成17年には白いラベンダーを発見し、平成25年に「美郷雪華 (みさとせっか)」として品種登録されました。現在は約2万株が植えられ、6月中旬から7月上旬に開催される「ラベンダー祭り」は、多くの来園者でにぎわいます。



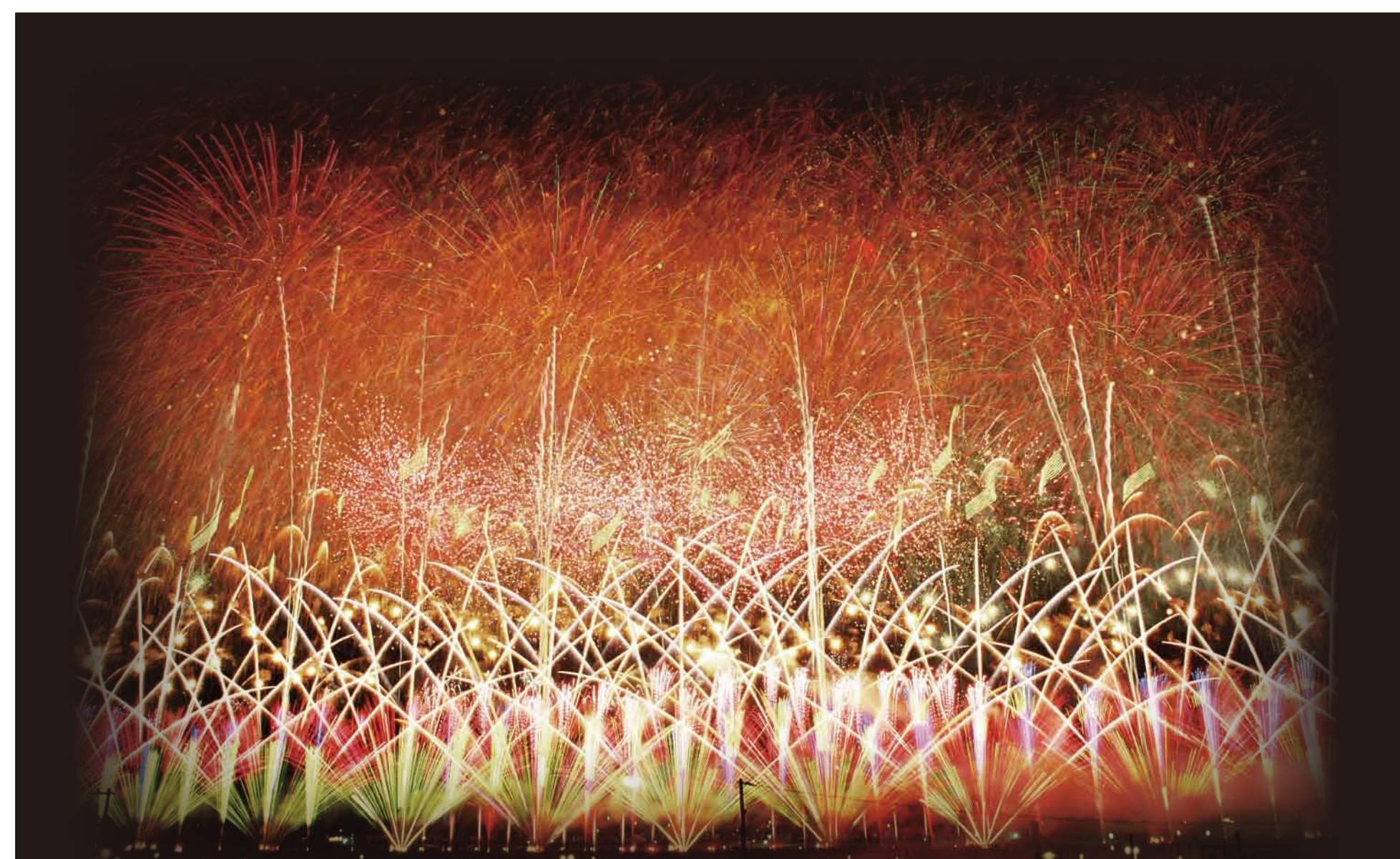
仙北地域 歴史の1コマ

六郷のカマクラ・竹うち(平成30年)



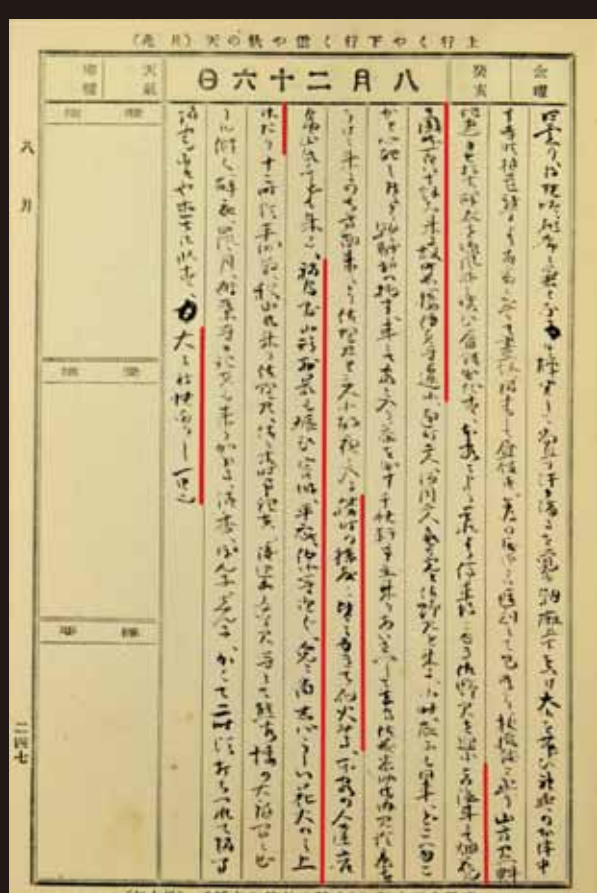
六郷のカマクラ・天筆焼き(昭和47年)

神官がお祓いした松鳩(正月のしめ飾り等をまとめて作ったもの)に火をつけ「天筆焼き」が行われます(写真上)。赤々と燃え上がる松鳩を挟んでの「竹うち」は六郷のカマクラのクライマックスで、今も昔も変わらず受け継がれています(写真左)。



「大曲の花火」100年記念大会(平成22年)

100年以上の歴史を誇る「大曲の花火」。記念すべき第1回大会が開催された明治43年8月26日の様子を記した個人の日記です(写真左下)。日記には、町長はじめ町を挙げて花火客を出迎えたこと、勝町(現在の浜町交差点付近)の桟敷で花火を見たこと、福島や山形など県外の花火も打ち上げられたこと、すべての花火が素晴らしかったことが綴られています。花火が終わった後も、余韻にひたりながら盛大な宴を楽しんだのでしょう。壮快な一日であったと締めくくられています。



第1回「大曲の花火」(明治43年)の盛況を伝える日記

…この汽車にて煙火見の団体百八十余人来る故、町長、接待員等出迎う…勝町の桟敷に皆々ゆきて花火みる…福島県、山形県最も振い、宮城、平鹿、仙北等次ぐ。兎に角すばらしい花火のみ上げたり…
…大に壮快なりし一日也

角館のお祭り(昭和28年)

旧角館町での角館のお祭りにおける曳山(ひきやま)が曳き廻されている様子です(写真右)。昭和10年以前の角館のお祭りはいかに衝突せずに曳山を運行させるかが常識だったそうですが、それ以降から曳山の激突「やまぶっつけ」が行われるようになりました。(旧角館町 昭和28年の曳山『角館祭りやま行事報告書』抜粋)



角館のお祭り・やまぶっつけ(令和元年)

各丁内でお囃子や踊りを繰り広げますが、通行優先権をめぐる駆け引きが激しくなり、交渉が決裂し、「やまぶっつけ」が発生している様子です(写真右)。「やまぶっつけ」が祭りの象徴的存在となる傾向がみられ、名物として観光客を集める催しになっています。

仙北地域 歴史の1コマ



角館駅の旧駅舎(昭和40年~50年代)

大正10年7月30日に生保内軽便線として新設、翌年に生保内線、昭和41年に田沢湖線に改称されました。木造建築で、当時は一日平均2千人を超える乗降客でにぎわい、観光ブームということもあり角館を訪れる観光客も年々増えてきていました。



現在の駅舎(令和3年)

平成9年に秋田新幹線こまちの営業開始にあわせて改装された現在の駅舎。令和3年7月30日に角館駅開業から100年を迎えました。これまで地域の足として通学や通勤で利用する方、そして多くの観光客を迎えています。

美郷町の農村風景

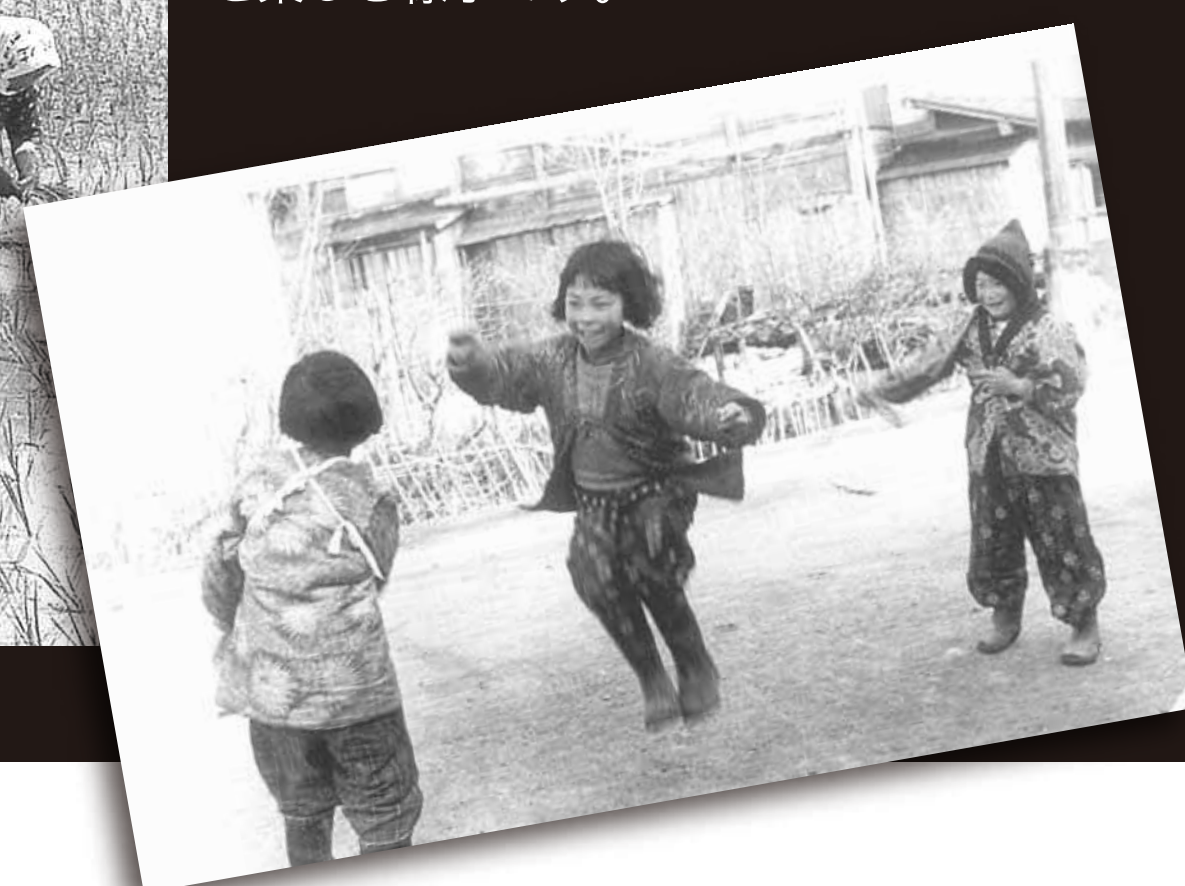


旧仙南村(昭和40年ごろ)



旧仙南村(昭和30年ごろ)

昭和30年ごろは、人力での田植え作業の風景がよく見られました(写真左)。下の写真は、子ども達が道路で縄跳びを楽しむ様子です。



昭和36年の大曲駅前商店街

月岡劇場の横断幕のほか、所狭しと並ぶ自転車や大勢の通行人で賑わう大曲駅前商店街。この年開業したタカヤナギデパートに続き、翌37年にはヤマサデパート、38年にカネトクデパートが開業。お客さんは3店を回り品定めをしてから買い物をし、子どもたちは「お子さまランチ」と屋上の乗り物などで遊ぶのが楽しみでした。



平成5年ごろの大曲駅

写真に写る大曲駅は、現在の駅舎の1代前にあたります。平成9年の秋田新幹線開業に合わせて建替られる前の駅前風景です。のどかな光景が広がる当時の駅裏方面も収められています。